

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日
 RI承認 昭和32年4月15日
 会長 田中英子
 副会長 石毛 充
 幹事 高瀬 幸雄
 会計 常世田 祐一
 2020-2021年度 RI会長テーマ
 ロータリーは機会の扉を開く
 ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
 RI会長 ホルガー・クナーク



例会日時 毎週水曜 12:30～
 例会場 銚子商工会館5階大会議室
 事務所 銚子市三軒町19-4
 銚子商工会館4階
 電話 0479-23-0750
 ファクス 0479-25-8789
 E-mail rotary@choshinet.or.jp
 UR <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc/>

第3094号 (2020年9月16日発行)

今週のプログラム

「3000回記念例会DVD鑑賞」
 金島 弘広報・会報委員長

前回例会報告 (9月9日)

銚子RC・銚子東RC公式訪問合同例会
 会場:1階大ホール
 点鐘(12:30) 銚子東RC 石毛園子会長
 国歌君が代 ロータリーソング:奉仕の理想
 ビジター紹介
 国際ロータリー第2790地区
 2020-21年度 ガバナー 漆原撰子様(勝浦RC)
 地区幹事長 吉田理愛様(勝浦RC)
 副幹事長 中村 満様(勝浦RC)
 第8グループガバナー補佐 大塚榮一様
 (八日市場RC)
 補佐幹事 鈴木勝也様
 (八日市場RC)

会長挨拶

銚子東RC 石毛園子会長



本日は、2020-2021年度国際ロータリー第2790地区ガバナー漆原撰子様をお迎えして、銚子ロータリークラブとの合同

例会です。漆原ガバナーはじめ地区幹事長吉田様、副幹事長中村様、遠路銚子へお越しいただきありがとうございます。そして第8グループガバナー補佐大塚様、補佐幹事鈴木様にもおいでいただきました。漆原ガバナーには、後ほど卓話をお願いいたします。

さて、銚子東ロータリークラブは、来年度50周年を迎えます。この50年の始まりは、銚子ロータリークラブ15周年の記念事業でした。先週、銚子東クラブでは名誉会員の大内恭平氏に卓話をしていただきましたが、そのお話の中でこの事業のことも触れられていました。ご存じのように大内会員はその当時銚子ロータリークラブの幹事でしたが、銚子東ロータリークラブのチャーターメンバーとなり、第1代会長網中喜一郎氏・幹事大内恭平氏でスタートしました。大内氏のロータリアン人生50年のお話を聞き、この1年は単に365日の時間の経過ではなく、48年間の1日1日の続きにこの1年が存在し、次の1年につなげていく責任が私にはあるのだと改めて感じた次第です。

本日お越しいただいた漆原ガバナーは、2018年1月に銚子ロータリークラブと銚子東ロータリークラブとの合同例会の際にも銚子においてになり、当時ガバナーノミニーデジグネートとして卓話をされました事を鮮明に覚えています。当時の私は、ロータリー=男性中心の世界と勝手に考えていたため女性のガバナー



ガバナー・会長幹事懇談会 会頭室
 11:35~12:20



第2790地区
 ガバナー漆原 撰子 (勝浦RC)

広報・会報委員会
 委員長 金島 弘
 副委員長 大岩 将道 委員 上総 泰茂

候補者であった事が1番の驚きでした。また、卓話の中で披露されたロータリーに入ってからの様々な活動も興味深く拝聴いたしました。

本日の公式訪問におけるガバナーのお話を今後のクラブ運営に生かしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

幹事報告 【活動計画書拝受】松戸東RC

1. 2019-20年度ガバナー月信合本
…2019-20年度ガバナー
2. 活動計画書送付の御礼
…ガバナーエレクト梶原等様
3. 管理運営統括委員会 三委員会合同セミナーのご案内
4. 第3回目ロータリー談義の集い
5. RRFC 便り
…ガバナー事務所

【例会変更】成田空港南RC 9月17日(木)休会

ニコニコBOX

◇第8グループガバナー補佐
大塚榮一様
合同公式訪問よろしくお願いたします。



◇両RC会長・幹事
漆原ガバナー、吉田幹事長、中村副幹事長
ようこそ銚子において頂き有難うございます。
本日の卓話宜しくお願申し上げます。



卓話

国際ロータリー第2790地区
2020-21年度ガバナー 漆原 摂子様



銚子東・銚子ロータリークラブの皆様、こんにちは、本年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦RC所属の漆原摂子と申します。どうぞ宜しくお

願い申し上げます。またこのコロナ禍の中、このように公式訪問例会を開催していただき、卓話の機会を得ましたこと、心より御礼を申し上げます。調整にあたっていただきました大塚ガバナー補佐にも感謝でございます。

私がガバナーノミニーデジグネイトとなりました2018年に、両クラブの合同夜間例会に吉田幹事長と共にお招きいただき、卓話の機会をいただきましたこと、並びに懇親会では楽しくスキャットも拝見致しましたこと、懐かしく思い出しております。時の流れは早いものですね。

それでは卓話に移らせていただきます。直近開催のRI理事会において、今年度の強調事項が3点発表になりました。

- 1、新型コロナウイルスパンデミックに対する奉仕活動に、積極的に取り組もうということ。
- 2、まずは現状の会員の維持。
- 3、このような状況下、オンラインツールを利用した会合（理事会や例会、委員会など）に慣れて、積極的に活用しようということ。ただし、オンラインに不慣れな会員さんを取り残すことのないようお願いします。

また、RI理事会とR財団管理委員会は、7つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この環境の保全は、グローバル補助金によって実施される奉仕活動や平和フェローのひとつに加わります。この申請は来年、2021年7月1日からとなります。

改めてご紹介致します、今年度のRI会長であるホルガー・クナーク氏、ドイツからは初めてのRI会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されているなと思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義だと思います。そしてロータリーのビジネス倫理や親睦や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。

コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそR再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常（ニューノーマル）」に適応することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の4つを伝えるようにと強調されました。これは今年1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレ

クトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、R I 会長の指示でございますので、お話をさせていただきます。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。こちらには千葉科学大学を基盤としたローターアクトクラブが既に存在していますし、会員数も県下では最多の20名と立派に活動されていることに感謝申し上げます。このような若い人たちの活動は地域社会において、周囲により大きなインパクトを与え、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この2つは、R I の4つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは自分のクラブの現状を見つめ、5年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えるべきです。会員一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかわりを促すという、R I の4つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会において、クラブの現在そして未来を考えていただきたいと思えます。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。即ち、既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より微増と思われる。今一度クラブ内を見渡していただき、コロナ禍により事業継続が厳しく、退会を検討している会員には、規定審議会を経て柔軟性が導入された標準ロータリー定款への適応力を高め（これもR I の4つの行動計画のひとつです）、会員身分や出席に関する例外を細則に適用し、クラブに留まっていたいただくことも一考です。まずは今の大切な仲

間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

こちらは、私たちが30年以上にわたり取り組んでまいりました、ポリオ根絶運動を周囲にお伝えし、広く支援者・賛同者の輪を広げる目的です。世界ポリオデーは毎年10月24日ですが、昨年は世界中で5600件以上のイベントが実施されました。現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増しています。一方、ロータリーが今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在はコロナ感染拡大の防止に利用してもらうことで、支援を続けています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。R I の4つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えています。10月のイベントについては、皆様の健康安全を第一に、ご無理のないようお願い致します。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。YouTubeでの地区研修協議会でもお話致しましたが、今年度は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをうたいたいと思えます。

奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサーヴィスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、R I 事務総長を32年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方で、そしてこれを実践するという事は、先程から話に出ております、R I の4つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、The Ideal of Service の実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々のRへの公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次のThe Ideal of Service の実践に取り組むことでしょう。依然コロナ禍により通常のような行動がとりづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略

計画をもって、この4つを繰り返し続けることで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。

クラブの会長さんには、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この4つの行動計画を展開することをお願い申し上げます。またクラブの各委員長の皆様は、この図の中で、それぞれの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブR財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長の皆様におかれましては、The Ideal of Serviceを実施するための寄付推進、ならびに「世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高め柔軟に対応することや、多様性を受け入れましょうと申し上げて参りました。一方RIは、ロータリーの基本理念は不変であると言い続けています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。

ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。

また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に违背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画(中長期的計画)をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがあります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビ

ジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか。即ち、会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、ロータリーの5大奉仕部門においては仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指すこと、ロータリークラブだからこそ、そのような人づくりが出来るのです。私自身としては、ロータリーって何？と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。自分を磨き、家庭や事業、地域や世界で、よいことをするための多くの扉を開いていただけますようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。



【出席報告】

会員総数38名 出席計算34名

出席27名 欠席7名

出席率 79.41%

欠席者：廣瀬君・泉君・村田君・佐藤君
鈴木君・高橋宏明君・富永君

【M U】

9/11 8G会長幹事会 高瀬君・田中君

9/12 財団セミナー 高瀬君・佐藤君

【ニコニコ】

| | | | |
|---------|---------|---|----------|
| ニコニコBOX | ¥ 7,500 | 計 | ¥160,500 |
| スモールコイン | ¥ — | 計 | ¥ 8,411 |
| 米山BOX | ¥ — | 計 | ¥ 11,630 |
| 希望の風 | ¥ — | 計 | ¥ 69,020 |

次週(9月23日)プログラム

「私のロータリアン人生50年」

銚子東RC 名誉会員 大内 恭平様

お弁当： 大新(幕の内)